

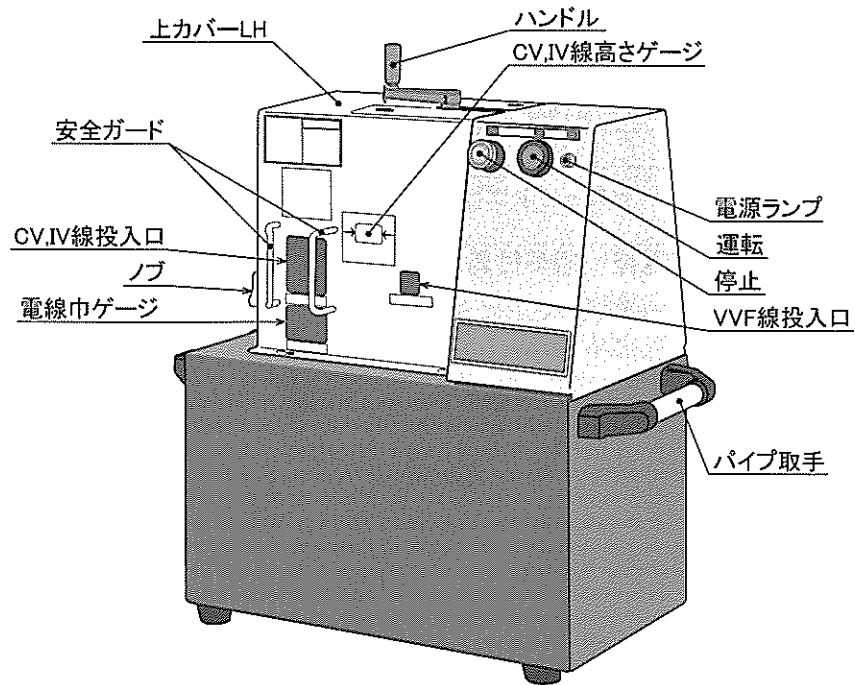
取扱説明書 保管用

IKURATOOLS

イクヨケーブルマスター

各部名称

ISK-DK325CV



警告 お読みになった後は、使用者がいつでも見られる所に必ず保管してください。

育良精機株式会社

はじめに

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などの説明が記載されて
おります。ご使用前にこの取扱説明書を充分にお読みいただき、正しくお使いい
ただけますようお願いいたします。

尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

■注意文の **△警告** **△注意** **注** の意味について

弊社では、ご使用上の注意事項は、**△警告** **△注意** **注** に区分していますが、
それぞれ次の意味を表します。

△警告: 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が
想定される内容のご注意。

△注意: 誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される
内容および物的障害のみの発生が想定される内容のご注意。

注: 製品及び付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

※注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■目次

仕様・適応電線・標準付属品	2
安全上の注意事項	3～4
使用上の注意事項	5
設置について	6
電線皮むき手順1 電源スイッチ	6
電線皮むき手順2 切り刃方式 (CV, IV線ほか)	6～7
電線皮むき手順3 ローラー方式 (VVF線)	8～10
切り刃の交換手順	11
サーマルリレー付き電磁開閉器のリセット	12
電源電圧の測定	13
その他、取扱上の注意	13
故障かな?と思ったら...	13
MEMO	14
アフターサービスについて	15

■仕様

名称	ケーブルマスター（電線皮むき機）	
型式	ISK-DK325CV	
用途	廃棄電線などの皮むき（リサイクルのための銅、被覆の分別）	
外形寸法	W560×D270×H600 mm	
質量	64 kg	
定格入力電圧	AC 100 V	
定格周波数	50 / 60 Hz	
定格電流	11.9 / 10.4 A	
定格出力	750 W	
消費電力	950 W	
処理速度	切り刃方式（CV線など）	11～15m/min (50Hz) ・ 14～18m/min (60Hz)
	ローラー方式（VVF線など）	8～15m/min (50Hz) ・ 10～18m/min (60Hz)
※ 処理速度は線の種類、状態により異なります		

■適応電線

皮むき方式	電線名称		導体サイズ
切り刃方式	CV線 CVT線	6600V架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル (注1.)	単芯サイズ 8mm ² ～325mm ² (注3.)
	CV線 CVD線 CVT線 CVQ線	600V架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル	
	VVR (SV)線	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(単芯のみ) (注2.)	
	IV線	600Vビニル絶縁電線	
	上記電線と同等で、導体が8mm ² ～325mm ² 被覆の仕上外径がφ38mm以下のもの		
ローラー方式	VVF (VA)線	600Vビニル絶縁ビニルシース平形ケーブル 単芯、2芯、3芯、外側被覆付	φ1.6、φ2.0、φ2.6 (注4.)

- 注** 注1. 6600V CV(E)、CVT(E)線など分離しにくい電線があります。
注2. 切り刃で外被を分離後、ローラーでφ1.6、φ2.0、φ2.6の電線を分離します。
注3. 多芯ケーブルは単芯にしてご使用ください。
但し、CV多芯線の外側被覆(シース)は分別できません。
注4. 3芯は中央の電線が完全に剥ぎとれない場合がありますが、手で簡単に剥ぎとれます。

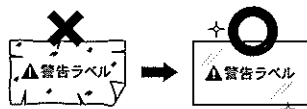
■標準付属品

1. 取扱説明書 2. 六角レンチ 8 mm 3. 六角レンチ 4 mm

安全上の注意事項

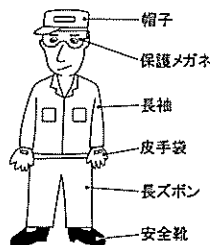
警告

- 本機貼り付けの警告ラベルについて
 - ・ラベルの表示が読みにくくなったり、はがれそうになった場合は貼り替えて修復してください。



作業される方は

- 作業に適した服装をしてください。
 - ・作業に適さない服装は、思わぬケガや事故をまねくことがあります。
 - ・長い髪が本機にかからないように保護帽を着用してください。
- 必ず保護メガネを着用してください。
 - ・銅線で目をついたり、金属粉が飛んでくる恐れがありますので必ず保護メガネを着用してください。
- 必ず皮手袋を着用してください。
 - ・分別した銅線は、ささくれ立ったものがありますので必ず市販の皮手袋を着用してください。
- 必ず安全靴を着用してください。
- 無理な姿勢での作業はおやめください。



作業場は

- 作業場はきれいにしてください。
 - ・ちらかした場所や作業台での作業は事故をまねきます。
- 作業台は十分な強度のものをご使用ください。
 - ・作業台は頑丈なものを使い、本機が絶対に落下しないよう配慮してください。
- 作業環境にご注意ください。
 - ・本機を雨にさらさないでください。
 - ・湿った場所や濡れた場所で本機を使用しないでください。
 - ・十分に明るく、整理整頓の行き届いた場所で使用してください。
- 引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
- 子供を作業場所に近づけないでください。
 - ・子供や作業関係者以外の人を作業場に近づけないでください。



作業される前に

- 本機を使用する前に各部のねじ、ボルトなどがしっかり締まっているか必ず確認してください。(調整後はドライバー、レンチは、はずしてください。)
- 適切な用途・作業条件でお使いください。
 - ・本機やその部品の能力を越えるような重作業はしないでください。
 - ・本来の用途以外では使用しないでください。
- 無理な使い方をしないでください。
 - ・本機は仕様どおり使うことで、能率よく安全に使うことができます。

警告

取扱いについて

- 本機の保管方法。
 - ・本機を使用しないときは高温、多湿、風雨雪、直射日光などを避け乾燥した場所に保管してください。
 - ・転倒、落下などの危険に配慮してください。
 - ・子供の手の届かない場所に保管してください。
 - ・ほこりなどが入らぬよう布や袋などをかけてください。
- 持ち運びに注意してください。
 - ・本機を持ち運ぶ場合、必ず停止スイッチを押し電源コードを抜いてください。
 - ・必ずパイプ取っ手を持ち、二人以上で運搬してください。
- 本機を作動させたまま、放置しないでください。

保守・点検について

- 分解や改造はしないでください。
- ご使用前、及びご使用後は
 - ・ご使用前、及びご使用後は必ず各部の点検を行ってください。
 - ・ご使用后、またご使用中でも銅線クズや被覆クズが溜まっていれば取り除いてください。必要に応じて電源コードを抜き、上カバーLHを外してクズを取り除いてください。
 - ・月に一回程度上カバーLHを外して機械油を機構部に塗布してください。但し、VVVF線押切ローラー外周には油脂類が付かないようにしてください。
- 不具合時
 - ・異音、異臭、皮むき不良など不具合の兆候があるときは不具合箇所を確認してください。クズのつまりはないか？
 - ・可動部品の連結状態は正常か？
 - ・破損部品がないか？
 - ・取り付け状態は良好か？
 - ・その他作動に支障をきたすところがないか確認してください。
- 破損あるいは作業に支障をきたす付属品や部品がありましたら購入された販売店またはお近くの育良精機株式会社営業所に依頼し修理、交換してください。
- 純正部品をご使用ください。
 - ・純正部品に関しては、この取扱説明書を参考にするか本機を購入した販売店もしくは育良精機株式会社営業所にお問い合わせください。
- 部品の取り付け取り外し、あるいは本機をメンテナンスするときは必ず電源コードを抜いてください。

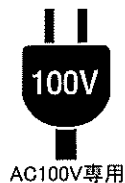


分解禁止

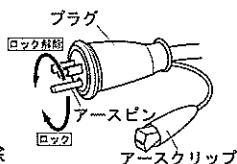
使用上の注意事項

警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 仕様以外の用途には絶対に使用しないでください。故障やけがの原因になります。
- 運転中は絶対に機械内部に手を入れない
・手や身体を巻き込まれケガをする恐れがあります。
- ぬれた手で電源コードに触らないでください。
- 表示してある正しい電源でご使用ください！
・誤った電源での使用は、本機の故障や事故の原因になります。
※ AC100V 50/60Hz以外での使用は、絶対にしないでください。
- 規定電圧厳守
・必ず規定電圧を守ってください。電圧降下した電源をご使用になりますと、機器が本来の性能を発揮できないだけでなく機器の故障や事故の原因になります。
・電源は本機電源プラグ入力部でAC100V±10% (90~110V) 50/60Hz 15A以上の容量をご使用ください。



- 必ず接地(アース)してご使用ください。
・アースクリップ、アース線は異常が無いことを確認してからご使用ください。
・アース極付きコンセント①の場合にはプラグのアースピンをロック方向に回転して差込みます。
・アース極無しコンセント②の場合にはプラグのアースピンをロック解除方向に回転して差込み、外装のアースクリップでアースをしてご使用ください。
・定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型漏電遮断機の設置されている電源でお使いになる場合でも安全の為、アースをお勧めします。
・アース工事(アース極を地中に埋めアース線を接続する等)を行うには資格が必要です。その際にはお近くの電気工事店にご相談ください。
・漏電遮断器やアースについては次の法規がありますので参照してください。
労働安全衛生規則(第333条 漏電による感電の防止、第334条 適用除外)
電気設備の技術基準(第18条:設置工事の種類、第28条:機械器具の鉄台および外箱の接地 第41条:地絡遮断装置等の施設)



警告 アース線をガス管に接続すると爆発の恐れがあります。絶対に接続しないでください。

- ・延長コードを使用される場合十分な太さのコードをご使用ください。過度の延長や細線を使用すると電圧降下し機器本来の性能を発揮できないだけでなく機器の故障や事故の原因になります。

※ 右表はコードの太さ(導体公称断面積)に対する最大長さの参考値を示します。

導体公称断面積	最大長さ(参考値)
1.25 mm ²	12 m
2.00 mm ²	20 m
3.50 mm ²	35 m

■ 設置について

注意

- 狭い場所での作業禁止
・本機の周囲に障害物があると、排出した電線がつかえて本機が倒れたり、思わぬ事故を引き起こす危険があります。しっかりと作業環境を整えてから作業を始めてください。
- 作業台と周囲の環境
・本機を頑丈な作業台の上に置いてください。その際、振動などで本機が落下しないよう作業台の端には置かないでください。
・本機の前、背面には十分な空間をあけてください。

■ 電線皮むき手順1 電源スイッチ

- 電源ランプと押しボタンスイッチ
・電源プラグをコンセントに差込み、本体右上部の電源ランプが点灯することを確認してください。(図1.)
・運転スイッチ(押ボタン)を押すと緑色の照光ランプが点灯しモーターの作動音がします。
・停止スイッチ(押ボタン)を押すと運転スイッチの照光ランプが消灯してモーターの作動音が止まります。作業終了後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

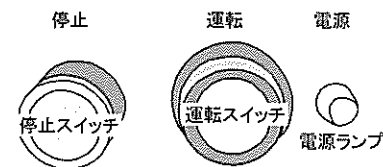


図1.

■ 電線皮むき手順2 切り刃方式(CV,IV線など)

- 切り刃の高さ調節
・皮をむく電線のサイズを確認して上カバーLH正面中央の「CV,IV線高さゲージ」(図3.)を見ながら上部のハンドル(図2.)を回して切り刃の高さを調節します。

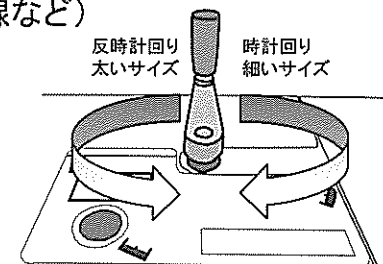
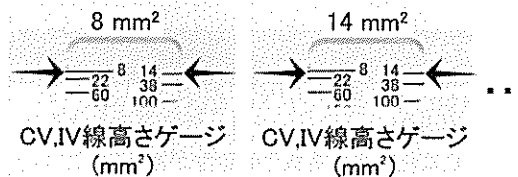
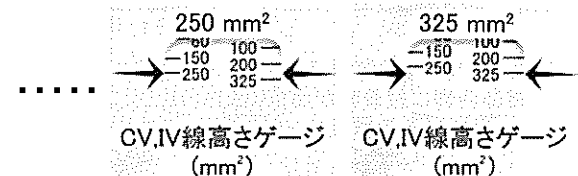


図2.



CV,IV線高さゲージ (mm²)

CV,IV線高さゲージ (mm²)



CV,IV線高さゲージ (mm²)

CV,IV線高さゲージ (mm²)

図3.

- 注** 電線は製造メーカーや仕様、状態によって切れ具合が異なります。必要に応じて切り刃の高さを微調整してください。
- ・切れ込みすぎるとき……ハンドルを反時計回りに微調整
 - ・しっかり切れないとき……ハンドルを時計回りに微調整
- 切れ込みすぎると、銅線に鋭利なバリができて扱いにくくなるほか切り刃の寿命を著しく縮めます。

● 電線巾調節

- 皮をむく電線を上カバーLH正面左下の電線巾ゲージ(図4.)に差し、左側面のノブを回して左右のゲージが電線に触れない程度に合わせます。

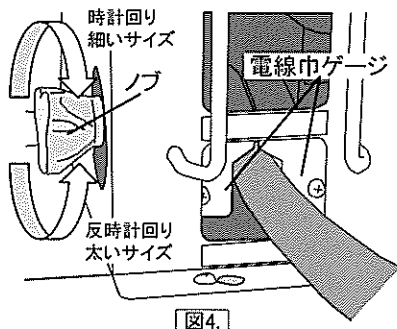


図4.

- 【注】 皮むき時、電線の送りが悪い時などノブを反時計回りに少し緩めてください。

● 皮むき作業

- 電線は1メートル以下に切って作業することを推奨しますが、長いまま作業をする場合巻き込まれたり排出された電線がつかえたり、思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分に注意して作業してください。
- P6 電線皮むき手順1に従い運転スイッチを押します。
- 「CV,IV線切り刃」の口に電線を差込めば皮むきができます。(図5.)

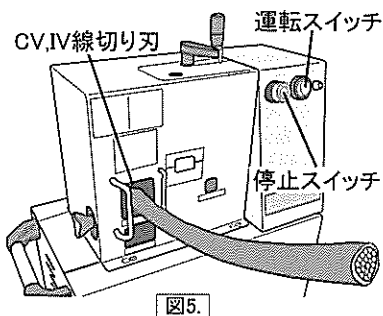


図5.

- 【注】 電線が巻癖などでカールしている場合、上向きに反った状態で差込んでください。(図5.) 電線がスムーズに送られます。

- 皮むき作業が終了したら停止スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 【注意】 分離作業時は必ず皮手袋などを着用し、十分注意して作業を行ってください。銅線に鋭利なバリが立っていることがあります。

警告

- 電線の投入口や排出口、その他開口部には絶対に手や指などを入れないでください。また、ネクタイや軍手など巻き込まれやすいものを着用して作業する場合、十分に注意して作業を行ってください。巻き込まれた場合、死亡または重症を負う可能性があります。

- 【注】 以下のような電線はそのまま皮むきをせず、付着物を必ず取り除いてから皮むきをしてください。機器内部に付着物が詰まり故障の原因になります。

- ① 電線端末の保護キャップやケーブルタイなど
- ② ビニールテープ、ガムテープ、ラベルなど
- ③ その他、針金や端子、モルタルのカスなど

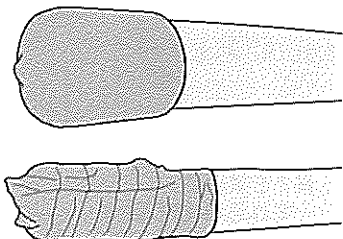


図6.

■ 電線皮むき手順3 ローラー方式 (VVF線φ1.6、2.0、2.6 ~3芯)

● ローラーの隙間調節

- 皮をむく電線のサイズを確認して下さい。

- φ1.6は上カバーLH上部のハンドルを矢印方向(時計回り)に締込んでからラベルのφ1.6位置に合わせてください。(図7.)
- φ2.0、φ2.6は、ハンドルをφ1.6の位置から反時計回りに戻しながら合わせてください。(図8、9)

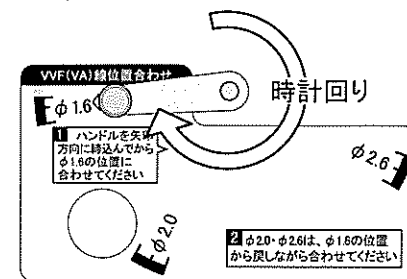


図7.

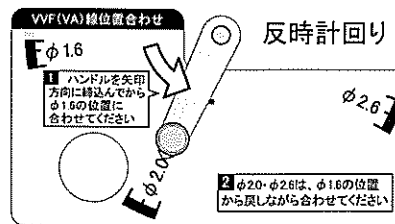


図8.

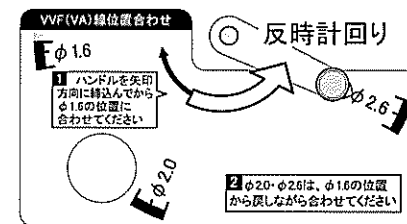


図9.

● 皮むき作業

- 電線は1メートル以下に切って作業することを推奨しますが、長いまま作業をする場合巻き込まれたり排出された電線がつかえたり、思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分に注意して作業してください。

- P6 電線皮むき手順1に従い運転スイッチを押します。
- 電線を上カバーLH正面の「VVF線ローラー押切」の口に差込めば皮むきができます。(図10.)
- 皮むき作業が終了したら停止スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

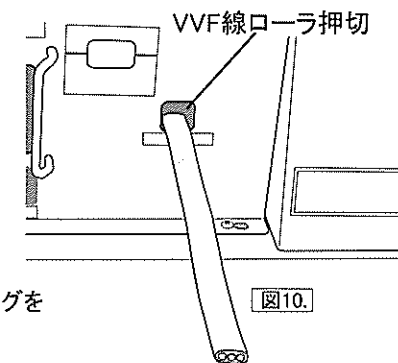


図10.

- 【注】 電線は製造メーカーや仕様、状態によってむけ具合が異なります。必要に応じてローラーの隙間を微調整してください。
- 銅線に被覆のカスがこびりつく・・・ハンドルを反時計回りに微調整
 - 銅線と被覆が分離しない・・・ハンドルを時計回りに微調整

- 【注意】 ローラー方式で皮むきをした銅線は、圧力で発熱しています。銅線が冷えるのを待って銅線と被覆を分離してください。

警告

- 電線の投入口や排出口、その他開口部には絶対に手や指などを入れないでください。また、ネクタイや軍手など巻き込まれやすいものを着用して作業する場合、十分に注意して作業を行ってください。巻き込まれた場合、死亡または重症を負う可能性があります。

注 VVF線皮むき作業上の注意

1. 以下のような電線は付着物を必ず取り除いてから皮むきをしてください。

- 機器故障の原因になります。
- ① 圧着端子、絶縁チューブ、ケーブルタイなどの付いた電線
 - ② ビニールテープ、ガムテープ、ラベルなどの付いた電線
 - ③ 針金やコンセント、モルタルのカス、その他の付いた電線

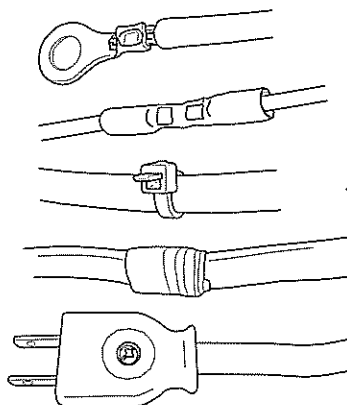


図11.

2. 電線が詰まってモーターが停止した時は？
電線径に対してローラーの隙間が小さいとき（例えばφ1.6の調節位置でφ2.6の電線を差込んだときなど）
モーターが停止し、皮むきができなくなることがあります。そんな時は

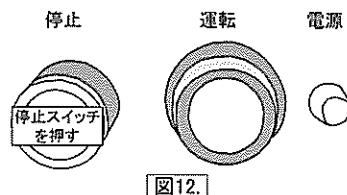


図12.

- ① ただちに電源スイッチ部の停止スイッチを押して(図12.)通電を止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 上カバーLH上部にハンドルを挟んで二つの丸穴があり、その奥に六角穴付きボルトが見えます。(図13.)
付属の六角棒レンチM8で1回転ほど緩めます。
- ③ 重くなっていたハンドルが動くようになりますので、反時計方向いっぱいに戻します。
- ④ つまっていた電線を抜き取り、②で緩めた六角穴付きボルトをしっかり締めます。
- ⑤ 試運転をして異音などの不具合がないことを確認したら、皮むき作業を再開してください。

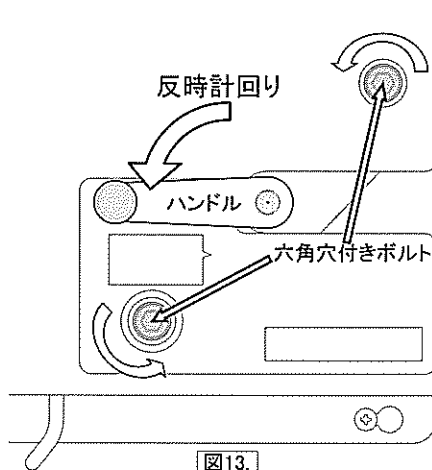


図13.

3. VVF線はある程度ねじれていても皮むきできますが過度にねじれたまま皮むきをすると銅線が細切れになり回収が面倒になります。
また機器にも多きな負担をかけますのである程度ねじれを直してから皮むきをしてください。

4. 内部の軸や機構部に異物が詰まったときは？
異物を巻き込んだり、被覆に粘着性のある電線をむいたとき、ローラーや軸などに絡まる場合があります。そんな時は

- ① ただちに電源スイッチ部の停止スイッチを押して(図12.)通電を止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 上カバーLH上部のハンドルを反時計回りいっぱいに回し、本機に向かって右方向(図14.)の位置にしてください。
- ③ 上カバーLHのネジ4箇所(図14.)を市販のプラスドライバーで4~5回転緩めます。
- ④ 上カバーLHを左にずらし上に持ち上げると外れます。(図15.)
- ⑤ ローラーや回転軸部に詰まった異物をマイナスドライバーなどを使って丁寧に取除いてください。(図16.)
- ⑥ 異物を取り除いたら④の逆順で上カバーLHを装着し、しっかりネジを締めてください。
- ⑦ 試運転をして異音などの不具合がないことを確認したら、皮むき作業を再開してください。

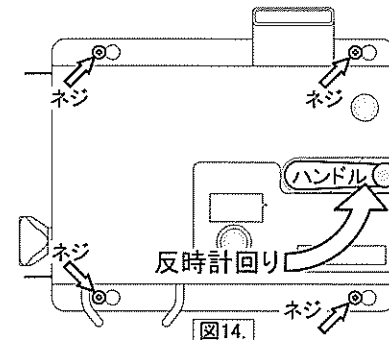


図14.

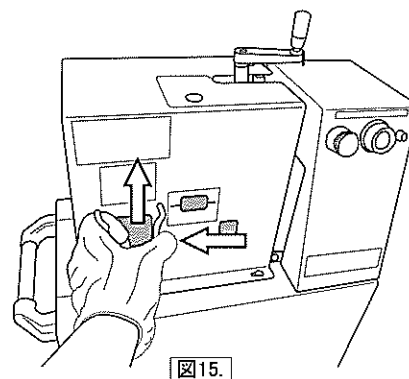


図15.

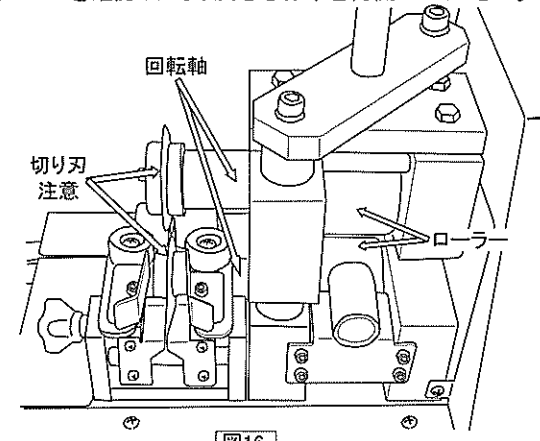


図16.

5. ローラーに油脂類が付着するとVVF線を差込んでもローラーが噛み込まないことがあります。
そんな時は、4. に習い上カバーLHを外してローラーに付いた油脂類を拭き取ってください。

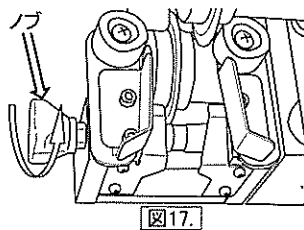
警告

- ・ 上カバーLHを外すときは必ず電源プラグをコンセントから抜き皮手袋を着用して切り刃ほか十分に注意をして作業を行ってください。
巻き込まれた場合、死亡または重症を負う可能性があります。

■ 切り刃の交換手順

● 準備

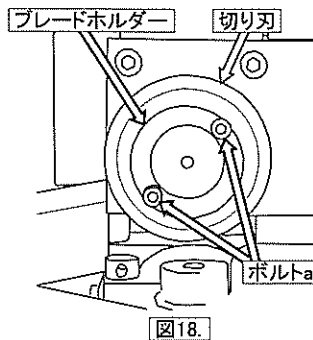
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・P10 4. ①～④に従い上カバーLHを外します。
- ・左側面のノブは反時計回りいっぱいにし、電線巾ゲージを広げてください。(図17.)



- ⚠警告** 上カバーを外すと切り刃がむき出しになります。必ず皮手袋を着用し、十分注意して作業してください。

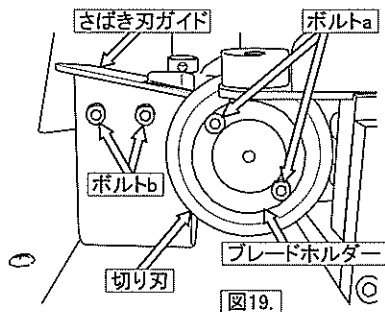
● 上の切り刃を交換する

- ・切り刃を固定しているボルトa (M5 × 20) 2本を付属の六角棒レンチM4で外します。(図18.)
- ・次にブレードホルダーを外します。
- ・皮手袋を着用し指を切らないように注意して切り刃を外します。
- ・逆順で新しい切り刃を取付け、ブレードホルダーをはめ込みネジ穴の位置を合わせてボルト2本でしっかりとめます。



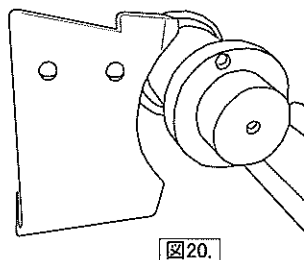
● 下の切り刃を交換する

- ・ボルトb (M5 × 14) 2本を付属の六角棒レンチM4で外し、さばき刃ガイドを外します。
- ・切り刃を固定しているボルトa (M5 × 20) 2本を外します。(図19.)
- ・次にブレードホルダーを外します。
- ・皮手袋を着用し指を切らないように注意して切り刃を外します。
- ・(図20.)の状態になったら逆順で新しい切り刃を取付けブレードホルダーをはめ込みます。ネジ穴の位置を合わせてボルトa (M5 × 20) 2本でしっかりとめます。
- ・さばき刃ガイドを乗せボルトb (M5 × 14) 2本でしっかりとめます。



● カバーの取付け

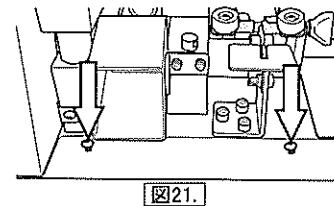
- ・P10 4. ④の逆順で上カバーLHを装着し、しっかりネジを締めてください。
- ・試運転をして異音などの不具合がないことを確認したら、皮むき作業を再開してください。



■ サーマルリレー付き電磁開閉器のリセット

- 本製品は過負荷運転から駆動モーターを守るためサーマルリレーを備えています。

通常環境(気温～30℃)、規定の皮むき条件で運転していればサーマルリレーが作動することはありませんが、高温の環境下、または過負荷運転をすると接続を切断して回路を保護します。

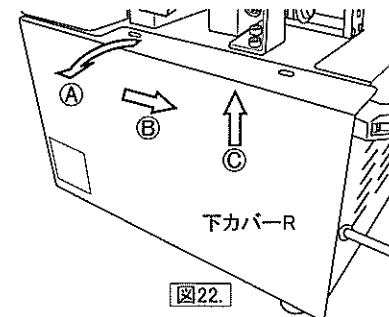


- サーマルリレー付き電磁開閉器リセットの手順
- ・P10 4. ①～④に従い上カバーLHを外します。

- ⚠注意** 必ず電源プラグをコンセントから抜き、皮手袋を着用して切り刃ほか十分に注意をして作業を行ってください。

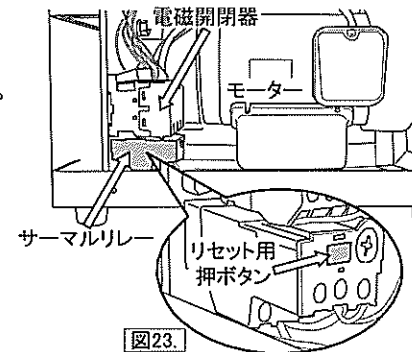
下カバーR(背面のカバー)を外します。

- ・背部2箇所のネジを外します。(図21.)
- ・(図22.)下カバーRの上部をA手前に引き出します。そのままB右に10mm程ずらします。C上に引上げると下カバーRが外れます。



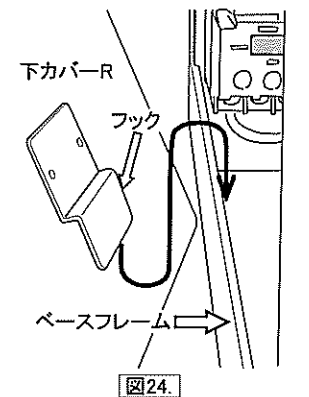
- ⚠注意** サーマルリレーが作動したときモーターは非常に熱くなっています。絶対に体や物が触れないように注意してください。

- ・リセット用の押ボタンを押せばリセット完了です。(図23.)



モーターが十分に冷えたら逆順でカバーを組付けます。

- ・下カバーRのフックをベースフレームに差込みます。(図24.)
- ・下カバーRを先程と逆にセットし、ネジ2箇所を半分くらい(約4mm)程度ねじ込みます。
- ・P10 4. ①～④の逆順で上カバーLHを取付けます。
- ・試運転をして異音などの不具合がないことを確認したら、皮むき作業を再開してください。



■その他、取扱上の注意

⚠警告 皮むきをする電線は1メートル以下に切って作業することを推奨しますが、長いまま作業をする場合巻き込まれたり排出された電線がつかえたり、思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分に注意して作業してください。

⚠警告 運転中は絶対に機械内部に手や指、また衣類など入れないでください。

注 ・適応電線以外の皮むきはできません。

注 ・電線に端子やコネクタ、モルタルのカスが付いた部分は除去してください。切り刃その他機構部品に重大なダメージを与える恐れがあります。

注 ・ビニールテープやガムテープ、その他粘着物の付いた電線は粘着物を除去して皮むきをしてください。機構部に粘着物がこびりつき電線がつまり易くなります。

故障かな?と思ったら・・・ 次の項目をチェックして下さい

現象	原因	処置
電源ランプが点灯しない。	電源が来ていない。	電源プラグをコンセントに差込んでください。
電源ランプは点灯するが運転スイッチを押してもモーターが回らない。	1. 入力電圧が低い。 2. ローラーに異物が詰っている。 3. 内部の軸や機構部に異物が詰っている。 4. サーマルリレー付き電磁開閉器が動作している。	1. 本機電源プラグ入力部でAC100V±10% (90~110V)の電源をご使用ください。 2. P9 2. 電線が詰って… 参照 3. P10 4. 内部の軸や… 参照 4. P12 サーマルリレー付き電磁開閉器のリセットをご参照ください。
皮むき作業中に分電盤のブレーカが落ちる。	本製品を含め電気の使い過ぎが考えられます。	他の電気機器、特にエアコン、電熱器具などの使用を中止してください。
運転スイッチを押すとすぐに分電盤のブレーカが落ちる。	内部故障と考えられます。	使用を中止して、お買求めの販売店もしくはお近くの育良精機株式会社 各営業所にご連絡ください。
切り刃方式でハンドルやノブを調節しても、被覆が完全に切れない。	切り刃の摩耗が考えられます。	新しい切り刃を用意してP11 切り刃の交換手順を参考に交換してください。 切り刃は純正部品をご使用ください。
運転スイッチを押すと“カツカツカツ”という音がしてモーターが正常に作動しない。	入力電圧が低い。	電源電圧を確認してください。モーター起動時運転中とも本機電源プラグ入力部でAC100V±10%(90~110V)でご使用ください。
ローラー方式で電線が入っていない	ローラーの汚れ	P10 4. 内部の軸や… を参照して、ローラーの汚れを市販のパーツクリーナーなどで拭き取ってください。

■アフターサービスについて

部品のお求め、または故障その他、お困りの時はお買い求めの販売店、または最寄りの育良精機(株)営業所にご連絡ください。

IMJ-152

仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

育良精機株式会社

本社・筑波工場	〒300-4297	茨城県つくば市寺具1395-1	TEL 029(869)1212(代)	FAX 029(869)1083
海外営業部	〒300-4297	茨城県つくば市寺具1395-1	TEL 029(869)1090(代)	FAX 029(869)1083
※札幌営業所	〒004-0873	札幌市清田区平岡3条2-13-1	TEL 011(881)2887(代)	FAX 011(881)2514
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町2-10-10	TEL 022(284)4320(代)	FAX 022(238)0988
北関東営業所	〒300-4297	茨城県つくば市寺具1395-1	TEL 029(869)1080(代)	FAX 029(869)1083
東京営業所	〒111-8506	東京都台東区元浅草2-7-13	TEL 03(3833)2081(代)	FAX 03(3835)4799
名古屋営業所	〒464-0084	名古屋市千種区松軒1-3-17	TEL 052(712)0294(代)	FAX 052(712)0118
大阪営業所	〒578-0965	東大阪市本庄西2-5-23 (大阪機械卸業団地内)	TEL 06(6748)1111(代)	FAX 06(6748)1105
広島営業所	〒733-0823	広島市西区庚午南1-2-1	TEL 082(273)7254(代)	FAX 082(273)3875
福岡営業所	〒816-0912	福岡県大野城市御笠川3-7-3	TEL 092(503)4826(代)	FAX 092(504)2881
長岡出張所			TEL 090(1702)3423	FAX 0258(83)1460
つくば配送センター	〒300-4297	茨城県つくば市寺具1395-1	TEL 029(869)1080(代)	FAX 029(869)1083

※札幌営業所は日本アイ・エス・ケイ(株)工具販売が窓口です。

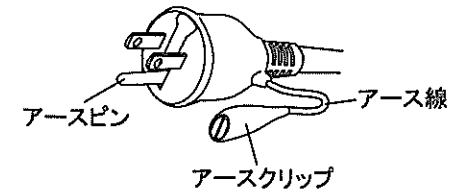
ホームページ <http://www.ikuratools.com>

E-mail info@ikuratools.com

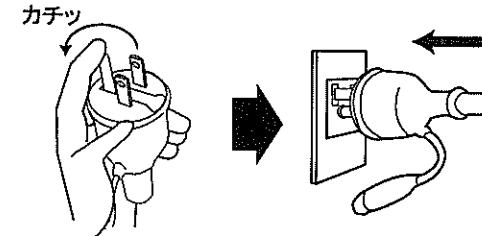
ポッキングプラグの使用方法

必ず接地(アース)してご使用ください。

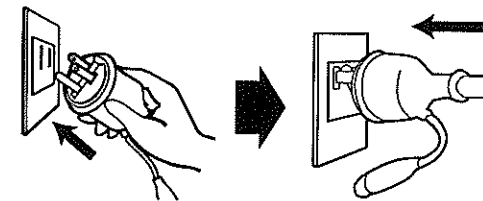
●アースクリップ、アース線、アースピンは異常が無いことを確認してからご使用ください。



●アース極付きコンセント①の場合には、プラグのアースピンがロックされていることを確認してください。アースピンが斜めになっている場合は、アースピンをカチッと音がするところまで指で戻してください。



●アース極無しコンセント②の場合には、コンセントの下側からプラグを傾けてアースピンを倒しながら差し込みます。コンセントに差し込むと同時にアースピンは収納されます。



●定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型漏電遮断機の設置されている電源でお使いになる場合でも安全の為、アースをお勧めします。

●アース工事(アース極を地中に埋めアース線を接続する等)を行うには資格が必要です。

●漏電遮断器やアースについては次の法規がありますので参照してください。

労働安全衛生規則(第333条 漏電による感電の防止、第334条 適用除外)

電気設備の技術基準(第18条:設置工事の種類、第28条:機械器具の鉄台および外箱の接地、第41条:地絡遮断装置等の施設)

⚠警告 アース線をガス管に接続すると爆発の恐れがあります。絶対に接続しないでください。